

1. 第1回 改定委員会の議題概要

(1) ビジョンの位置づけ、改定のポイント、進め方等の説明

三鷹駅北口街づくりビジョン

三鷹駅北口地区補助幹線道路の整備により、三鷹駅北口の交通環境が大きな変化を迎える概ね 10 年後の目指すべき街の姿を描き、その実現に向けた取り組みを示したもの

【位置づけ】 三鷹駅北口周辺の街づくりに関する、都市計画マスタープランの下位計画(地区別の個別計画)。

【改定主旨】 現計画策定後、8 年が経過。計画期間の 10 年を見据え、現況分析、現行計画評価等を行い、計画改定。

【検討体制】 改定委員会(諮問機関)と庁内委員会(庁内部会)と連携しながら計画案を検討

(2) 改定委員会について

【諮問内容】 別紙のとおり(交通環境／土地利用／緑・にぎわい)。

【進め方】 改定委員会 計7回開催(R7 年度3回、R8年度4回)、R8 年度 10 月頃パブコメ案決定予定。

【各回議題】 第2回:土地利用、第3回:交通環境、第4回:にぎわい、第5回:計画素案、第6回:パブコメ案

(3) 現計画の進捗状況、現況分析、市民意見について

【進捗状況】 補助幹線道路相互通行見込み、駅前広場改修検討、産業振興・創業支援の取組み、にぎわい社会実験 等

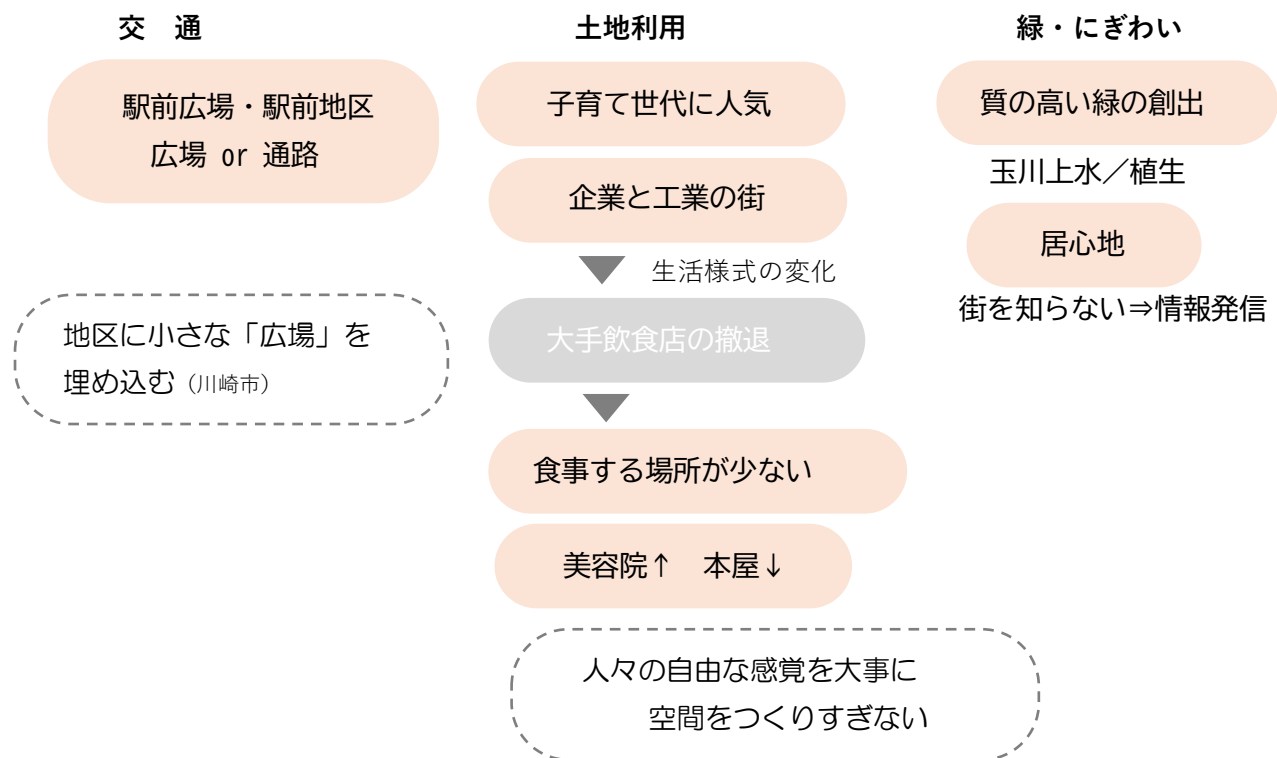
【現況分析】 人口(全体:増加傾向、若年層:出入多⇔高齢層:継続居住)、交通量(減少)、緑被率(低)、イベント(定着) 等

【市民意見】 全体キーワード:「三鷹駅北口らしさ」、「居心地がよい」、「落ち着きがある」、「ポテンシャルが高い」 等

(4) 饗庭教授講演

- ・「誰か」の個別的な小課題を小さな空間を使って解決する ⇒ 課題解決能力の高い、駅前広場・駅前地区をつくる
- ・「通路」と「広場」の2つの機能を活用
- ・空間をつくりすぎない、余白を大切に、地区に小さな「広場」を埋め込む

2. 改定委員会が出た意見



9/26 事例視察(下北沢駅周辺の取組み)



7/16 三鷹駅北口周辺まち歩き



3. 第2回改定委員会の議題

